目次

安全上のご注意

警告
火災や感電の危険性を減らすため、このプロジェクター本体を雨や湿気にさらさないでください。
内部は高圧状態で危険ですので、カバーを開かないでください。
修理についてはコンタクトセンター(P48)にお問い合わせ下さい。

クラスB排ガス規制

このクラスBデジタル装置は、カナダのインターフェース関連設備規制の全ての要求事項を満たしています。

重要な安全上の指示

1. 吸排気口をふさがないでください。プロジェクターを確実に操作できるようにし、過熱にならないようにするには、通気をふさがない場所にプロジェクターを設置することをお勧めします。例としては、物であふれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドなどの上にプロジェクターを載せないでください。空気の流れを制限する本棚やキャビネットなどの囲いの中にプロジェクターを置かないでください。
2. 水や湿気のあるところでプロジェクターを使用しないでください。火災や電気ショックの危険性を減らすには、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、または熱を放つアンプといったその他の器具など、熱源の周辺に設置しないでください。
4. 掃除には、乾いた布だけを使ってください。
5. メーカー指定の取り付け具/付属品のみを使用してください。
6. 装置一式が物理的損傷があったり、乱用されているものは使用しないでください。
   物理的損傷/乱用の例は次のとおりです（ただしこれに限定されるものではありません）:
   - 装置一式を落としたことがある。
   - 電源コードやプラグが損傷している。
   - 液体をプロジェクターにこぼしたことがある。
   - プロジェクターを雨や湿気にさらしたことがある。.
   - 何かがプロジェクターの中に落ちている、またはその内側の何かが緩んでいる。
7. 装置一式を自身で修理しないで下さい。
8. カバーを開けたり、外したりすると、危険な電圧やその他のハザードにさらされる可能性があります。
   装置一式を修理に出す前にコンタクトセンター(P48)までお電話ください。
9. プロジェクターに物や液体が入らないようにしてください。これらが、火災や電気ショックにつながる危険な電圧ポイントおよびショートする部品に触れる可能性があります。
10. 安全に関連する印についてはプロジェクターの同梱物を参照してください。
11. 装置一式の修理については、コンタクトセンター(P48)にお問い合わせ下さい。

使用環境について

- 動作温度：
  - 0～750メートル、5～35 ℃
  - 750～1,500メートル、5～30 ℃
  - 1,500～3,000メートル、5～25 ℃
- 最大湿度：
  - 動作：5℃～35℃、相対湿度80%（最大）、結露無し
  - 保管：-20℃～60℃、相対湿度80%（最大）、結露無し

周囲動作環境に、空中に浮遊する煤煙、グリース、オイル及びプロジェクターの操作や性能に影響を与える可能性があるその他の汚染物質がないようにします。

上記環境以外で本製品を使用する場合、製品保証は無効になります。

安全に関する情報

このプロジェクターを使用する前に、この説明書に含まれる安全に関する情報を読んで、理解し、そして従ってください。将来の参考のため、この説明書を保持してください。

⚠ **警告：**	回避しないと、死亡または重傷及び/または物的損害が生じる可能性がある潜在的に危険な状況を示します。
⚠ **注意：**	回避しないと、軽傷又は中程度の傷害及び/または物的損害が生じる危険性がある状況を示します。

⚠ 警告

危険電圧に関連するリスクを減らすために：

- どのような方法でも本製品を改造しないでください。
- プロジェクターを無断で修理しないでください。
- ユーザーが修理可能な部品はありません。
  修理については、コンタクトセンター(P48)へお問い合わせください。
- 湿った環境で壁面の電源を使用しないでください。
- 破損した壁の電源を使用しないようにします。破損した部品を使用前に交換しないでください。

火災および爆発に関連するリスクを減らすために：

- プロジェクターを液体に浸さないでください。また、濡らさないでください。
- Optoma純正電源装置のみを使用してください。

窒息に関連するリスクを減らすために：

- リモコン電池のようなすべての小さい部品を子供またはペットのそばに置かないでください。

危険な電圧、衝撃、つまずき、そして強烈な可視光線に関連するリスクを減らすために：

- 監視する者のいない子供の周りで、このプロジェクターを使用しないようにしてください。

⚠ 注意

難聴に関連するリスクを減らすために：

- 音量に関してイヤホンメーカーの説明書を必ず確認してください。
- 個人の責任において、安全な音量設定を行ってください。

電池の液漏れによる爆発及び/または化学物質に関連するリスクを減らすために：

- 電池はCR2025をご使用ください。
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)端子をリモコン上のマークに合せてください。
- 長時間リモコン内に電池を入れたまま放置しないでください。
- 電池を加熱したり、燃やさないでください。
- 電池を分解、ショート、または充電しないでください。
- ポケットやバッグに電池をいれて運ばないようにしてください。
- 電池が液漏れした時、眼や皮膚に接触させないでください。

環境汚染に関連するリスクを減らすために：

- 適用される政府の規制に従って、すべてのシステムコンポーネントを廃棄します。

LED高輝度ライトに関連するリスクを減らすために：

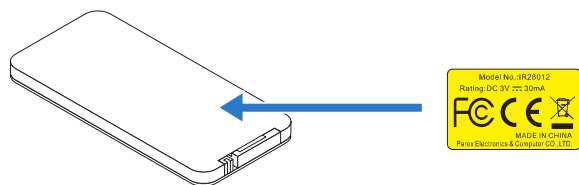
- プロジェクターのレンズを直接覗かないようにします。

つまずきおよび落下に関連するリスクを減らすために：

- つまずきの危険がないように電源コードや映像ケーブルなどを設置します。

重要な注意：車の中など閉めきった空間でプロジェクターを直接日光に当てないでください。

次の説明書を保存してください

安全ラベル

リモコン（オプション）
モデル番号IR28012

商標

OptomaおよびOptomaロゴは、Optoma社の商標です。AdobeおよびAdobeロゴは、米国および/またはその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。Microsoft、PowerPoint、およびExcelは、Microsoft社の登録商標です。MicroSDおよびMicroSDHCはSD Associationの商標です。

その他すべての商標または登録商標は、各社の所有物です。

ビデオおよびオーディオデコーダに関する注意事項

MPEG-4に関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i)MPEG-4映像標準（以下、「MPEG- 4ビデオ」という）に準拠してビデオをエンコードすること及び/または、(ii)個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードしたMPEG-4ビデオ及び/またはMPEG LAからMPEG- 4 ビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得したMPEG-4ビデオをデコードすることについて、MPEG-4映像特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。販売促進、社内および商用的利用およびライセンスに関する追加情報は、MPEG LA, LLCから取得することができます。HTTP://WWW.MPEGLA.COMを参照してください。

AVCビデオに関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i)AVC標準（以下、「AVCビデオ」という）に準拠してビデオをエンコードすること及び/または、(ii)個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードしたAVCビデオ及び/またはAVCビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得したAVCビデオをデコードすることについて、AVC特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。追加情報は、MPEG LA, L.L.Cから取得できます。HTTP://WWW.MPEGLA.COMを参照してください。

MPEGレイヤ3に関する注意事項

本製品の供給は、この製品で作成したMPEGレイヤ3互換コンテンツの収益生成放送システム（地上波、衛星、ケーブル及び/またはその他配信チャンネル）、ストリーミングアプリケーション（インターネット、イントラネット及び/またはその他ネットワーク経由）、その他のコンテンツ配信システム（有料オーディオまたはオーディオディマンドアプリケーションおよびその類似）または物理メディア（CD、DVD、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカードおよびその類似）への配信に関するライセンスおよび権利を意味するものではありません。そのような利用には、個別のライセンスが必要です。

詳細は、http://mp3licensing.comを参照してください。

規制に関する注意事項

FCC声明 - クラスB

本製品はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、説明書通り正しく設置および使用されていない場合はラジオ混信を招く恐れがあります。FCC規則のパート15サブパートBに定められたクラス「B」コンピューティングデバイスの制限事項に準拠しており、住宅に設置し操作される場合、干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。ただし、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に妨害を招かないという保証はありません。本製品がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、装置の電源を入れたり切ったりすることで、本製品が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修正を試みて下さい。

- 受信アンテナを再編成するか、位置を移動する。
- 本装置と受信機の間隔を広げる。
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ラジオ/テレビの専門技師に問い合わせる。

注意：このクラスBデジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

カナダ産業省の規制情報

本装置の操作は以下の条件の対象となります。

(1) 本装置は、干渉を引き起こしません。

(2) 本装置は操作に有害な干渉を含め、すべての干渉を受けます。

ユーザーは、RF曝露要件を満たすためにこのマニュアルに指定された通りに本装置を使用する必要があることに注意します。このマニュアルに一致しない方法で本製品を使用すると、過度のRF曝露状態につながる可能性があります。

このクラス[B]デジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

このデジタル装置はカナダのクラス[B] NMB-003に準拠しています。

ユーザーへの指示：本製品は、次の条件を満たすと、FCC機器要件に準拠します。ケーブルにEMIフェライトコアを含める場合は、プロジェクターへのケーブル端にフェライトコア取り付けます。プロジェクターに付属または指定されたケーブルを使用してください。

メモ：準拠に関する責任当事者の明示的な承認のない変更や修正は、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

IDA標準DA103121に準拠

欧州EC指令について

電磁適合性に関する声明：2004/108/EC指令に適合

低電圧指令：2006-95-EC指令に適合。

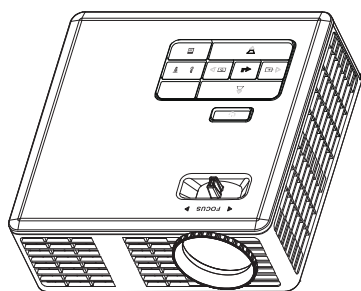
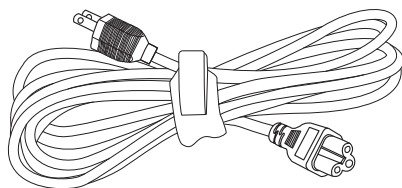
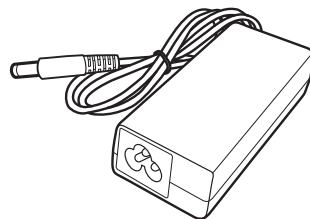
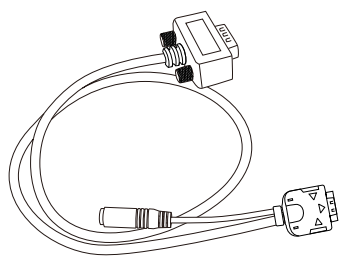
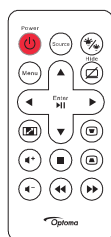
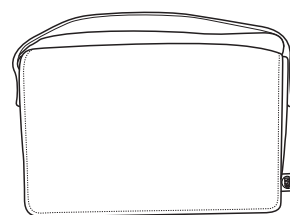
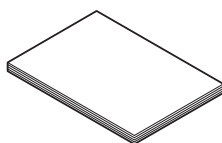
WEEEに関する声明

以下、EUメンバー国用です：

廃電気電子機器指令2002/96/EC（WEEE）に準拠しています。
地方自治体の廃棄物として機器を廃棄せず、現地の法律に従って適切な回収システムに従って下さい。

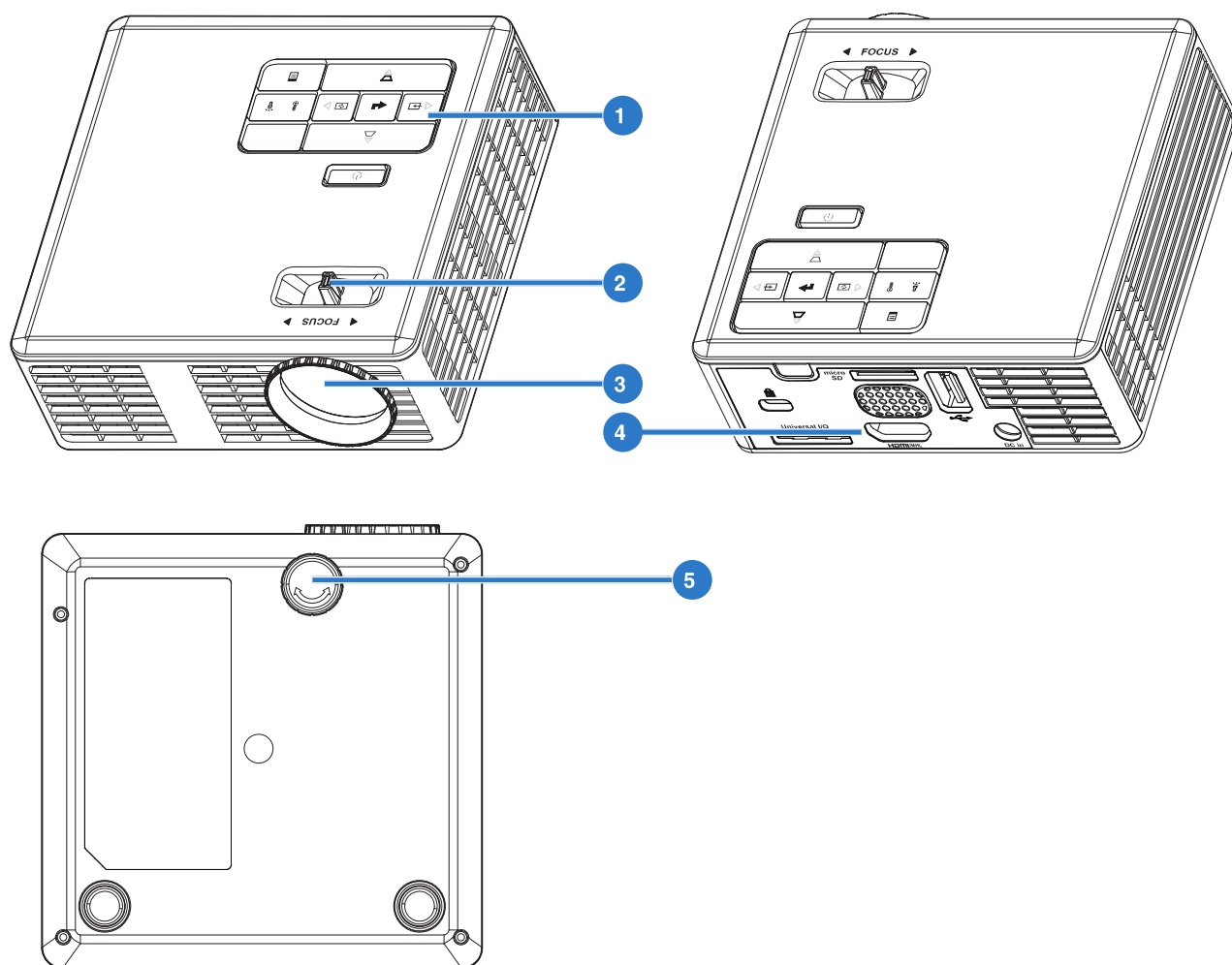
はじめに

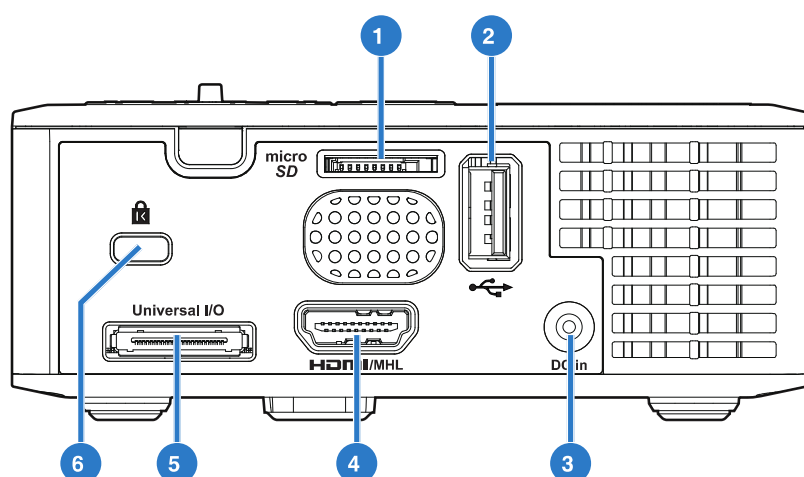
同梱されているもの

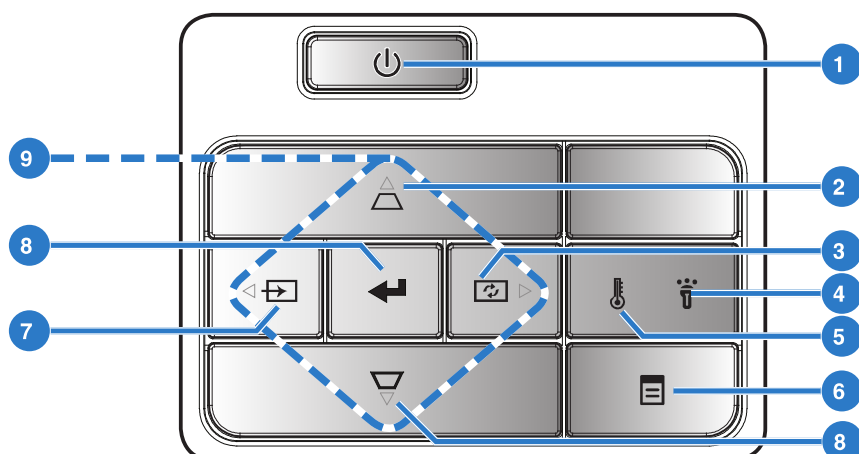
このプロジェクターには次のものが付属しています。すべてを確認して、不足しているものがある場合は、販売店またはコンタクトセンター(P48)にご連絡ください。

プロジェクター　　電源ケーブル　　ACアダプタ

ユニバーサル 24ピン VGA/オーディオケーブル　　リモコン　　キャリングケース

MHLケーブル　　取扱説明書（保証書付）クイックスタートガイド

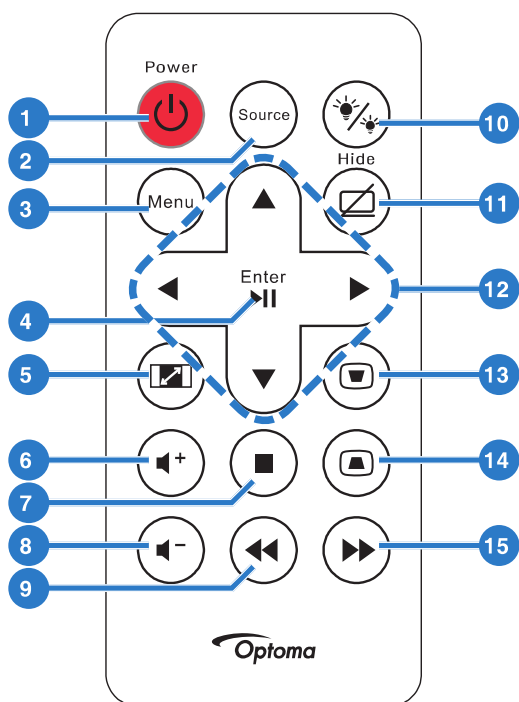
メモ：リモコンは、電池付きで出荷されます。

プロジェクターについて

本体

#	説明
1	コントロールパネル
2	フォーカスリング
3	レンズ
4	入力/出力接続
5	傾斜調整ホイール

入力/出力接続

#	説明
1	マイクロSDカードスロット
2	USBタイプAコネクタ
3	DC入力コネクタ
4	HDMI/MHLコネクタ
5	ユニバーサルI/Oコネクタ
6	セキュリティケーブルスロット

コントロールパネル

#	名称	説明
1	電源	プロジェクターの電源のオン/オフを切り替えます。
2	キーストーン調整	ボタンを押して、プロジェクターの傾きによって起こるゆがみを調整します(垂直+/-40度)。 *メモ：この機能は、マルチメディア機能に対応していません。*
3	自動調整	このボタンを押して、プロジェクターと入力ソースを同期させます。 *メモ：オンスクリーンディスプレイ（OSD）が表示されている場合は、自動調整は作動しません。*
4	エラーLED	エラーLEDがオレンジ色で点灯している場合、LEDが故障しています。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。
5	温度LED	TEMPのオレンジ色のインジケータが点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われます。 ● プロジェクターの内部温度が高すぎます。 ● ファンが故障しています。
6	メニュー	このボタンを押してOSDを起動します。方向キーと**メニュー**ボタンでOSDを操作します。
7	ソース	押して、**ソース**メニューに移動し、入力ソースを選択します。 *メモ：この機能は、マルチメディア機能に対応していません。*
8	入力	このボタンを押して選択項目を確定します。
9	4方向選択キー	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目を操作します。

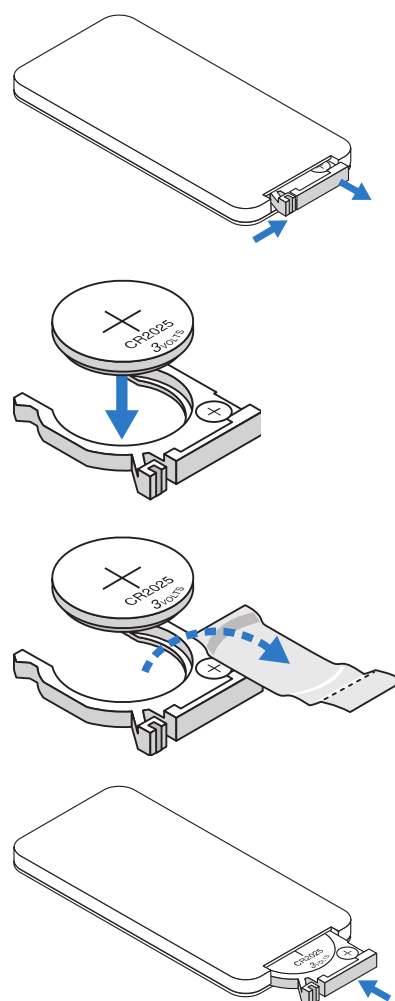
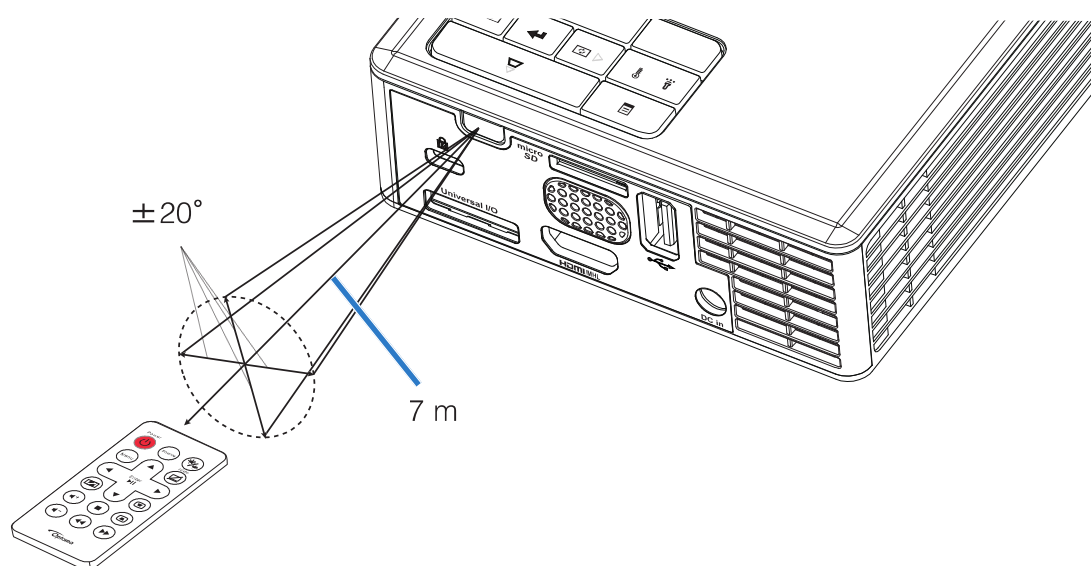
リモコン

#	名称	説明
1	電源	プロジェクターの電源のオン/オフを切り替えます。
2	ソース	押して、**ソース**メニューに移動し、入力ソースを選択します。
3	メニュー	このボタンを押してOSDを起動します。
4	入力 (Enter)	このボタンを押して選択を確定します。
	再生/一時停止	このボタンを押してメディアファイルを再生/一時停止します。
5	縦横比	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
6	音量アップ	このボタンを押して音量を上げます。
7	停止	このボタンを押してメディアファイルの再生を停止します。
8	音量ダウン	このボタンを押して音量を下げます。
9	巻き戻し	押すと、巻き戻しを行います。
10	LEDモード	表示モードを選択できます。
11	AVミュート	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
12	上/下/左/右	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目を操作します。
13 14	キーストン調整	ボタンを押して、プロジェクターの傾きによって起こるゆがみを調整します(垂直+/-40度)。
15	早送り	押すと、早送りを行います。

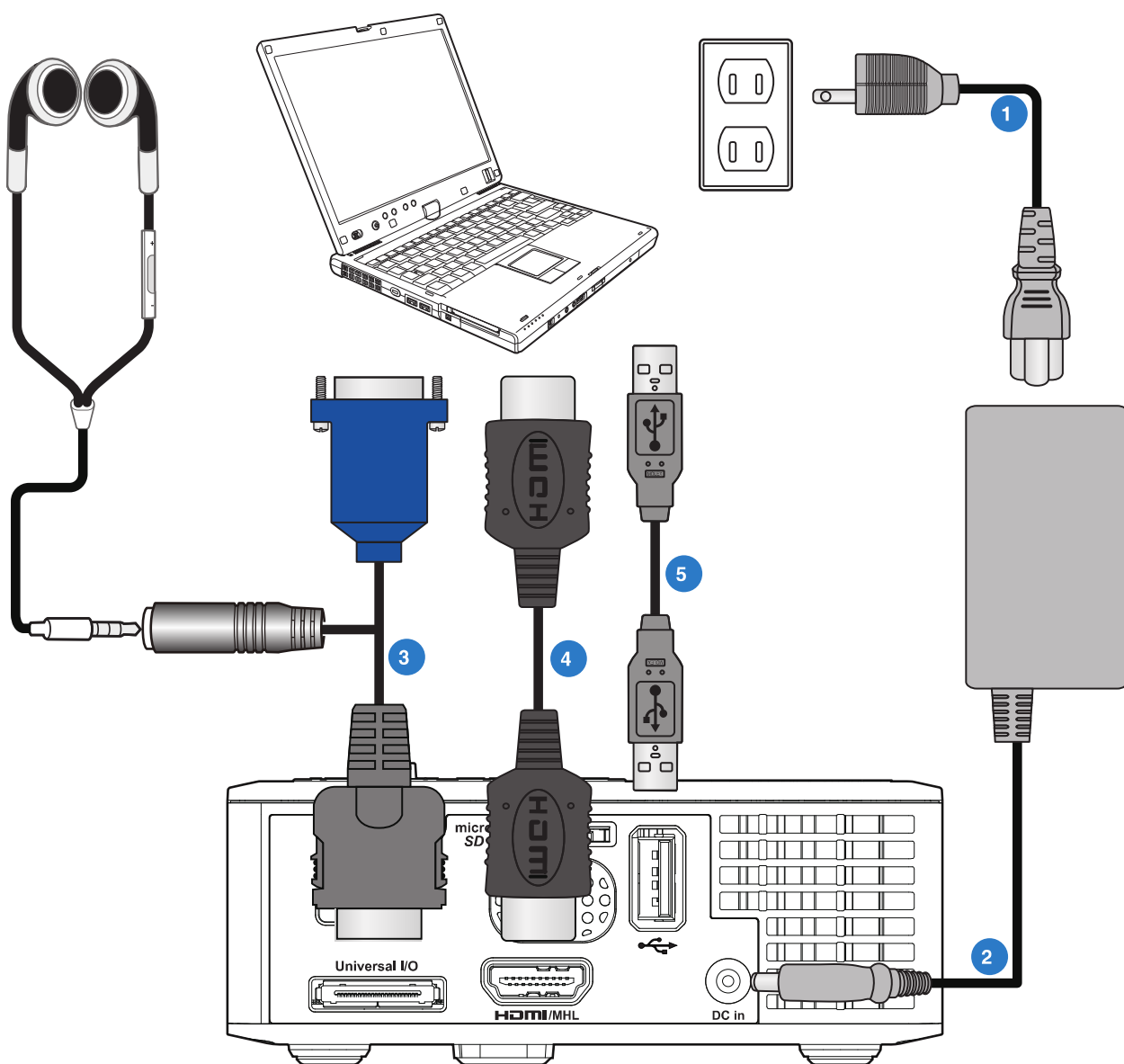
リモコンの電池の取り付け

1. 側面をしっかり押さえ、電池ホルダーを引き出して取り外します。

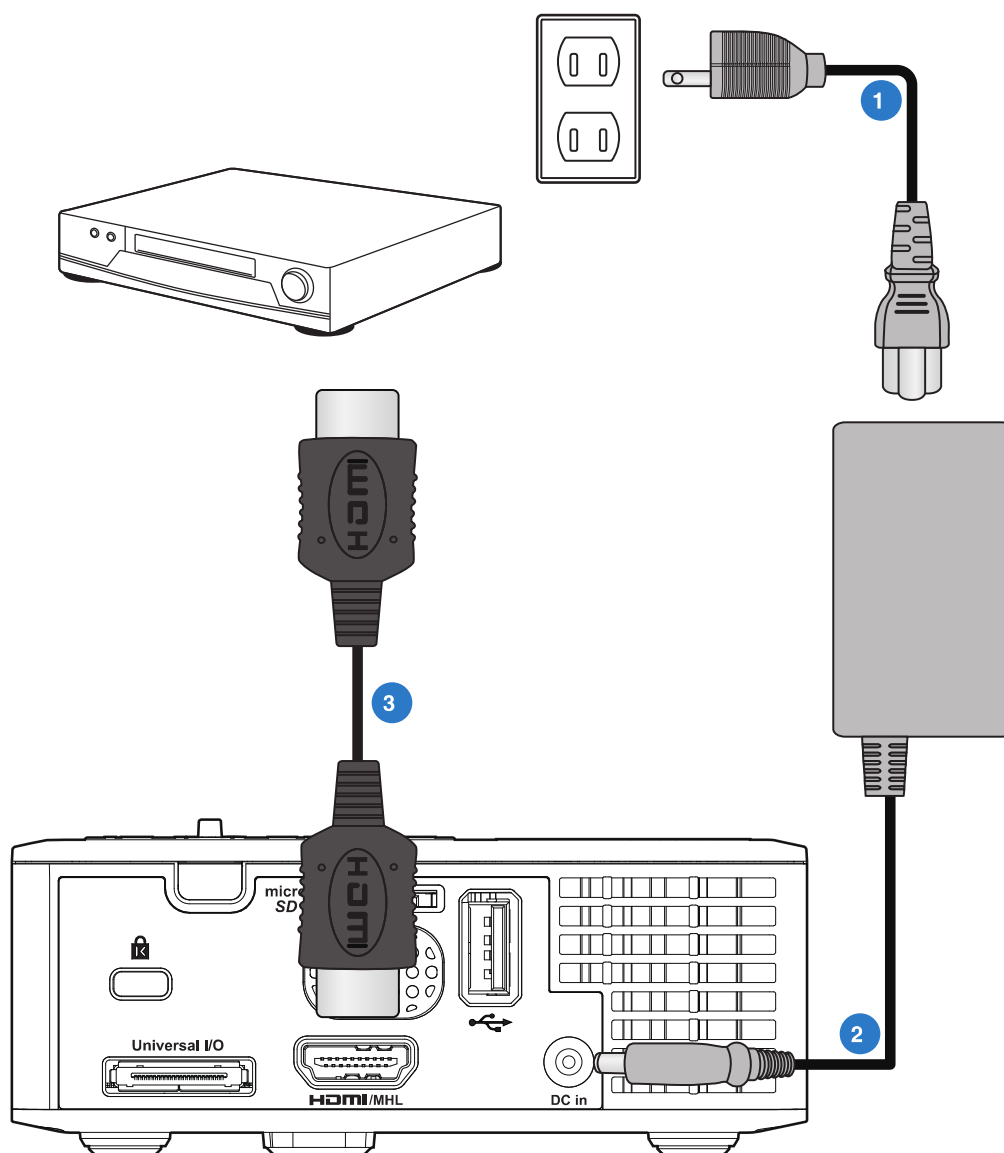
2. CR2025ボタン電池を入れ、電池ホルダーのマークに合わせて電極を正しい向きに合わせます。

メモ：リモコンを初めて使用する際は、電池と端子の間にプラスチックシートが挟んであります。ご使用の前にそのシートを取り出してください。

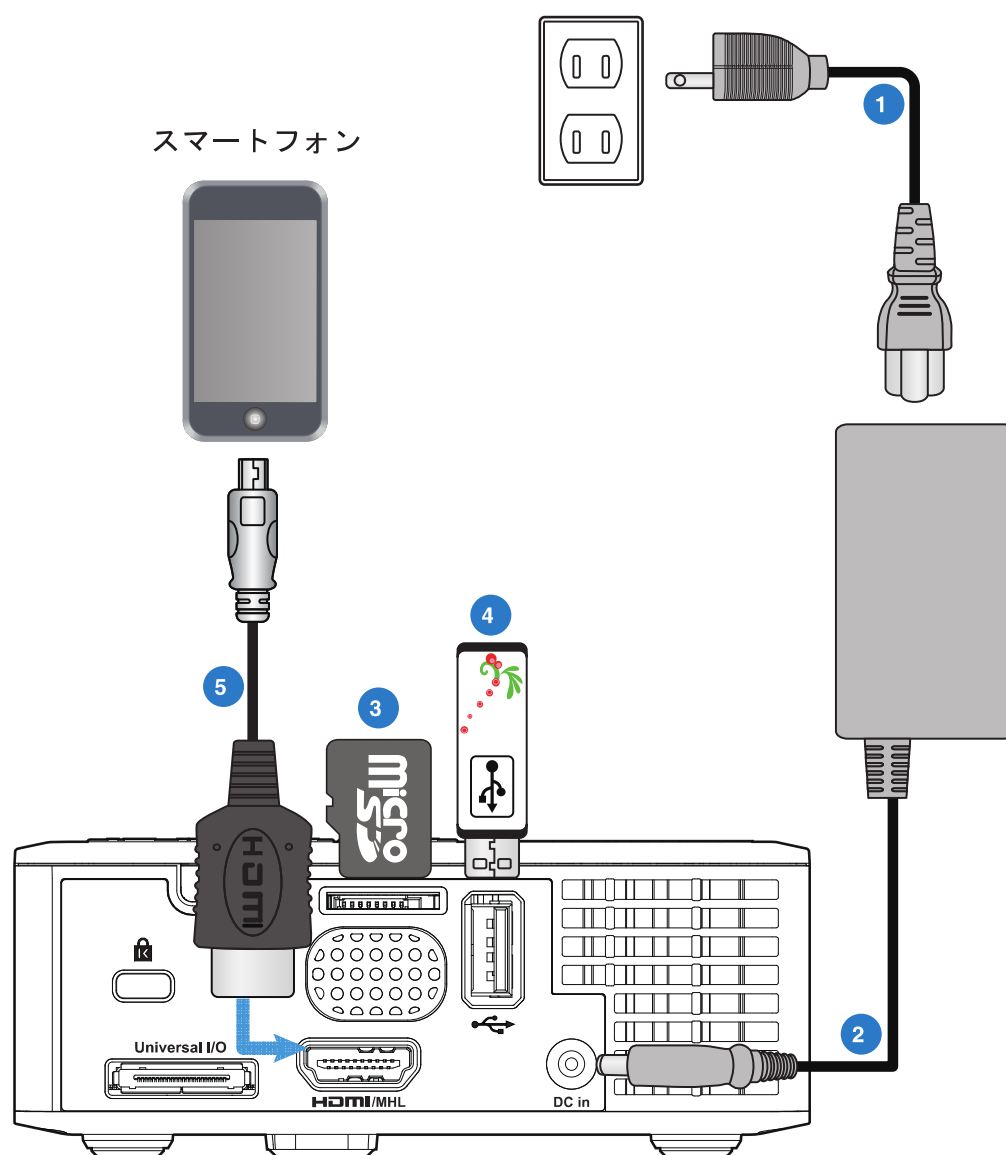
3. 電池ホルダーを元に戻します。

リモコンの動作範囲

メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。更に、電池が弱るとリモコンの動作範囲が狭くなったり、リモコンが動作しなくなります。

コンピュータへの接続

#	説明
1	電源コード
2	ACアダプタ
3	ユニバーサル 24ピン VGA/オーディオケーブル
4	HDMIケーブル *
5	USB-A - USB-Aケーブル *

** : 別途ご用意下さい。*

DVDプレーヤーへの接続

#	説明
1	電源コード
2	ACアダプタ
3	HDMIケーブル *

＊：別途ご用意下さい。

マルチメディアへの接続

#	説明
1	電源コード
2	ACアダプタ
3	マイクロSDカード *
4	USBフラッシュディスク *
5	MHLケーブル

＊：別途ご用意下さい。

プロジェクターの電源を入れる/切る

プロジェクターの電源を入れる

メモ：プロジェクターの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVDプレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンはオレンジ色で点滅します。

1. ACアダプタと一緒に電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクターに接続します。
2. **電源**ボタンを押します。
3. ソース（コンピュータ、DVDプレーヤーなど）の電源を入れます。
4. 適切なケーブルを使用して、プロジェクターにソースを接続します。
5. 入力ソースは、前回接続した入力ソースで決まります。
   （デフォルトで、プロジェクターの入力ソースはマルチメディアに設定されています）
   必要に応じて、プロジェクターの入力ソースを変更してください。
6. プロジェクターに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルの**ソース**ボタンを押して、希望するソースを選択します。

プロジェクタの電源を切る

1. **電源ボタン**を押します。プロジェクターを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。

メモ：「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージが5秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

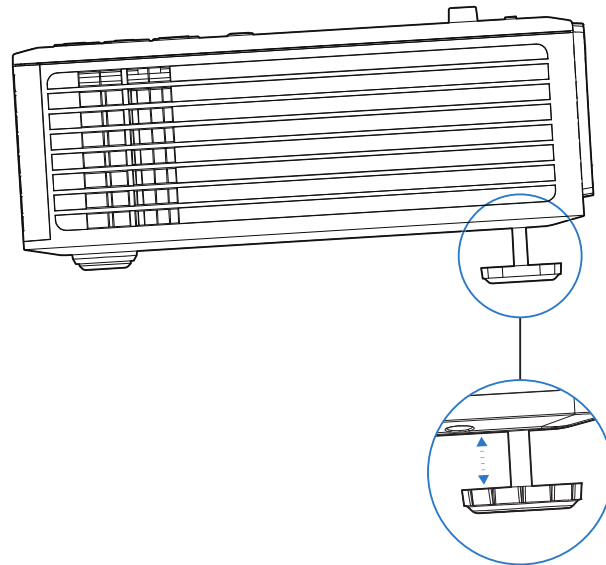
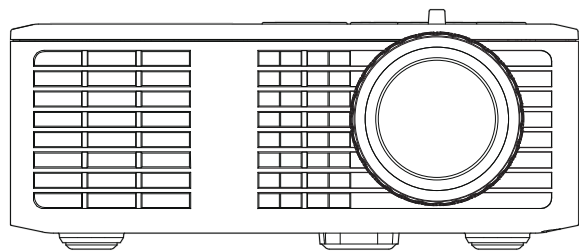
2. **電源ボタン**をもう一度押します。冷却ファンが3～5秒間作動します。
3. コンセントとプロジェクターから電源ケーブルとACアダプタの接続を外します。

投影画像の調整

プロジェクターの高さを上げる

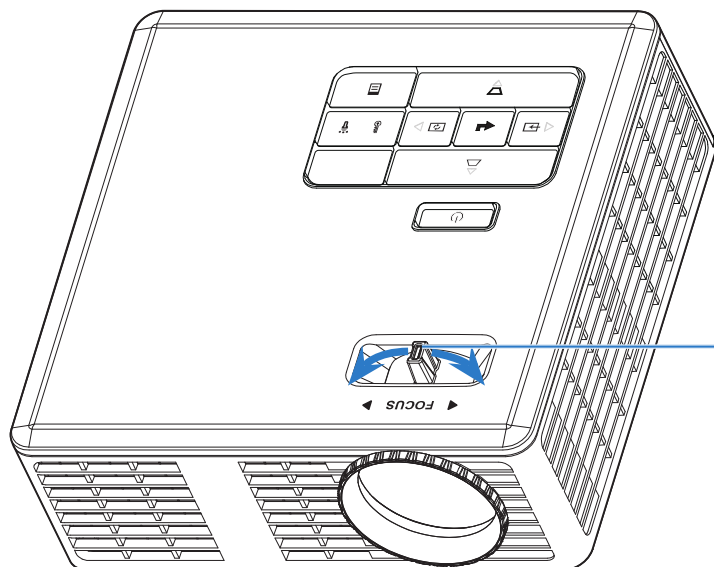
プロジェクターを任意の高さまで上げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクターの高さを下げる

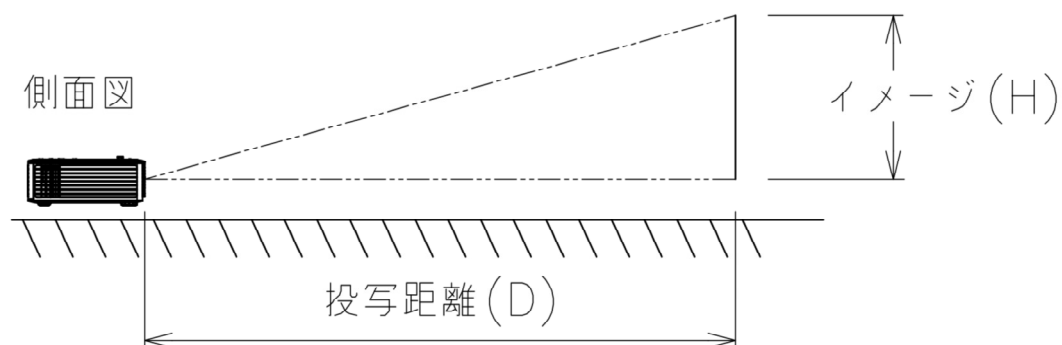
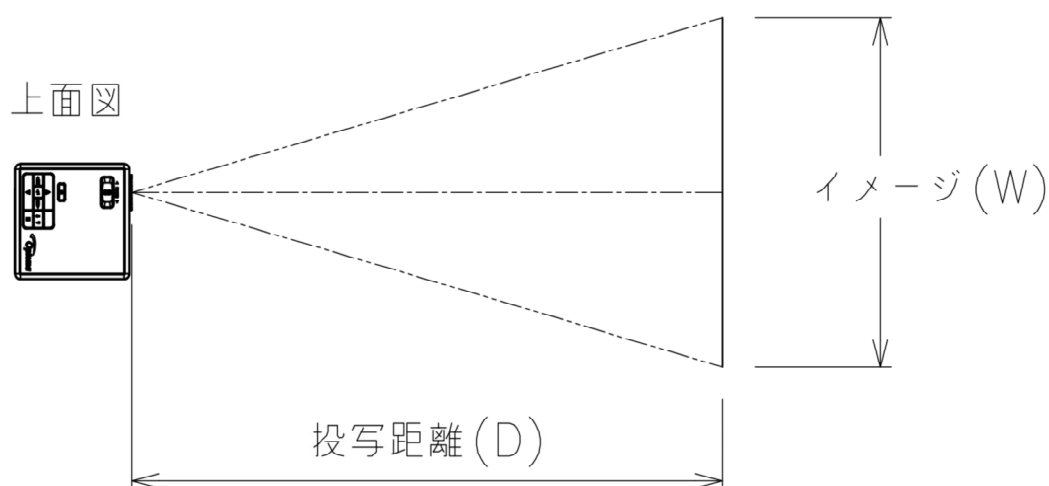
プロジェクターを下げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

前面傾斜調整ホイール
(傾斜角度：0～6度)

プロジェクターのフォーカス調整

重要な注意：プロジェクターを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、調整ホイールが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクターが破損しないようにします。

画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクターで焦点が合う距離は 0.97 m ～ 2.58 mです。

投写距離表

画面サイズ WXGA (16:10)	イメージサイズ m		投写距離 m ※1	オフセット m ※2
	幅(W)	高さ(H)	(D)	(Hd)
30	0.65	0.40	0.97	0
40	0.86	0.54	1.29	0
50	1.08	0.67	1.61	0
60	1.29	0.81	1.94	0
70	1.51	0.94	2.26	0
80	1.72	1.08	2.58	0

※1 許容誤差±5%
※2 オフセット値 (Hd)はレンズセンターから、
投写イメージ下端までの距離です。
ML750の場合、レンズセンターと投写イメージ下端が
一致する為,オフセット値(Hd)は0となります。

メニューツリー

メインメニュー			
言語	English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Polski/Svenska/Nederlands/Português/ 日本語/繁體中文/简体中文/р у с с к и й/한국어/Türkçe/العربية		
Sauce	自動ソース/VGA/HDMI/USB/マイクロSD/内蔵メモリー		
モード	PCモード/Cinema Mode/Photo Mode/明るさモード		
音量	1～10		
自動調整			
OSD Reset	キャンセル/確認		
Data Transferring			
詳細 FW: ***	表示	縦横比	元/16:9/4:3
		ズーム	1～10
	画像	明るさ	1～10
		コントラスト	1～100
		白の強度	1～10
	パワー	消費電力	オフ/20分/60分/90分/120分
		Sleep Timer	0～995分
		Direct Power On	オフ/オン
		投影方式	Front/Rear/FrontCelling/RearCelling
		スピーカ	オフ/オン
		Audio Noise Reduction	高/低
		Display Hour	高/低
3D ※1	オフ/オン		
3D L⇔R ※1	オフ/オン		

※1 3Dモードのみ設定

セットアップ		
写真設定	ディスプレイモード	ファイルリスト/サムネイル/スライドショー
	ディスプレイ比	自動/フル
	スライドショー表示時間設定	5秒/15秒/30秒/1分/5分/15分
	スライドショー繰り返し	オン/オフ
	スライドショー効果	アトランダム/長方形/オフ/ヘビ/パーティション/消去/ ブラインド/ライン/グリッドの十字表示/十字/らせん
ビデオ設定	ディスプレイ比	自動/フル
	再生モード	1回/1回繰り返し/繰り返し/アトランダム
	自動再生	オフ/オン
音楽設定	再生モード	1回/1回繰り返し/繰り返し/アトランダム
	スペクトル表示	オフ/オン
	自動再生	オフ/オン
FIRM更新	メディア Ver***	いいえ/はい

ユーザー制御

オンスクリーンディスプレイ（OSD）の使用方法

1. プロジェクターには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD)メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
2. コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを押して「メインメニュー」に移動します。
3. オプションを選択するには、プロジェクターのコントロールパネルまたはリモコンの▲または▼ボタンを押します。
4. コントロールパネルまたはリモコンの◀または▶ボタンを使って設定を調整します。
5. OSDを終了するには、コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを直接押します。

メインメニュー

言語

OSD用の言語を設定します。◀および▶を押して言語を選択し、↵を押して言語を変更します。

3D機能あり

Sauce（ソース）

ソースメニューを使ってプロジェクターの入力ソースを選択します。

■ **自動ソース**

⏎を選択し押して有効にすると、自動オプションが次の使用可能な入力ソースを自動検出します。

■ **VGA**

⏎を押してVGA信号を検出します。

■ **HDMI**

⏎を押してHDMI信号を検出します。

■ **USB**

USBフラッシュディスクから写真、オーディオまたはビデオファイルを再生できます。

■ **マイクロSD**

マイクロSDカードから写真、オーディオまたはビデオファイルを再生できます。

■ **内部メモリ**

プロジェクターの内部メモリから写真、オーディオまたはビデオファイルを再生できます。

モード(ディスプレイ)

表示モードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します。
オプション：PCモード、Cinema Mode、Photo Mode、明るさモード。

音量

オーディオメニューで、プロジェクターの音量設定を調整できます。

◀を押して音量を下げ、▶を押して音量を上げます。

自動調整

自動調整を使って、PCモードでプロジェクターの **水平位置**、**垂直位置**、**周波数**、および**トラッキング**をVGAソース（PCモード）で自動的に調整します。

OSD Reset

すべての設定が工場デフォルト値にリセットされます。

警告メッセージが表示されます。
コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

Data Transferring（内部メモリへの書き込み）

選択して⏎を押し、動作させます。

以下の警告メッセージが表示されます：

メニューボタンを押すと終了します。

詳細

27～31ページの「詳細メニュー」を参照してください。

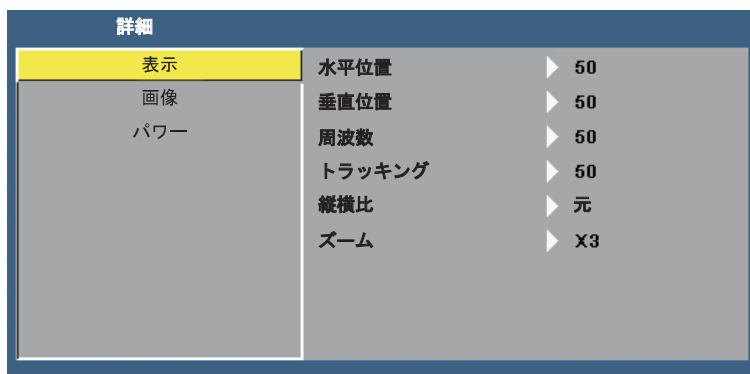
ファームウェアバージョン

プロジェクターの現在のファームウェアバージョンを表示します。

詳細メニュー

詳細メニューでは、**表示**、**画像**、および**パワー**の設定を変更できます。

表示（PCモード）

を選択して押し、表示設定を起動します。メニューには次のオプションがあります：

■ **水平位置**

を押して画像を右へ移動し、を押して画像を左へ移動します。

■ **垂直位置**

を押して画像を上へ移動し、を押して画像を下へ移動します。

■ **周波数**

ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

■ **トラッキング**

ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

■ 縦横比

縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：**元**、16:9および4:3。

- 元: **元**を選択して入力ソースに従って画像プロジェクターの縦横比を維持します。
- 16:9: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9スクリーン画像を投影します。
- 4:3: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3画像を投影します。

■ ズーム

▲ または ▼ を押して、画面をズームし表示します。

表示（ビデオモード）

↵ を選択して押し、表示設定を起動します。メニューには次のオプションがあります：

■ 縦横比

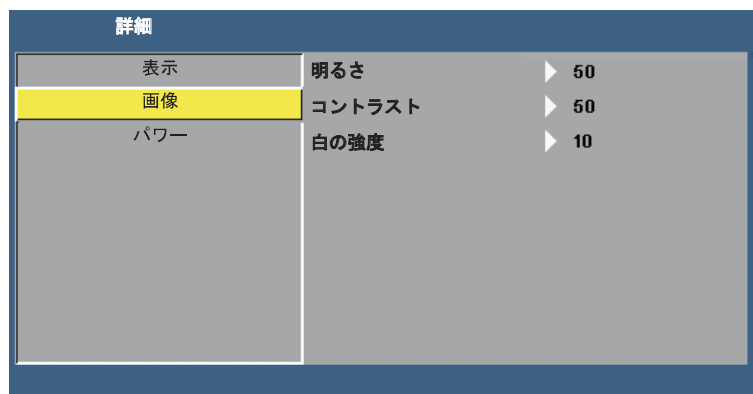
縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：**元**、16:9および4:3。

- 元: **元**を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9スクリーン画像を投影します。
- 4:3: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3画像を投影します。

■ ズーム

▲ または ▼ を押して、画面をズームし表示します。

画像

を選択して押し、画面設定を起動します。画像メニューには次のオプションがあります：

- **明るさ**

  やを押して画像の明るさを調整します。

- **コントラスト**

  やを押してディスプレイのコントラストを調整します。

- **白の強度**

  を押し、とを使用して白の強度を表示します。

パワー

⏎を選択して押して、電源設定を起動します。電源メニューには次のオプションがあります：

■ 消費電力

オフを選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクターは120分間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセーが表示されます。カウントダウンの間にいずれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。
省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクターが待機する時間です。省電力は、20分、60分、90分、または120分に設定できます。遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクターはオフになります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

■ Sleep Timer(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(単位は分です)。

■ **Direct Power On**

オンを選択して、ダイレクトパワーモードを起動します。
AC電力の供給時にプロジェクターの電源が自動的に入ります。

■ 投影方式

プロジェクターの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

- Front：これはデフォルト設定です。
- Rear：画像を左右反転して表示します。透過スクリーンの裏面から投影することができます。
- Front Ceiling：画像を上下逆に投影します。
- Rear Ceiling：画像を左右反転させ、上下逆に投影します。

※ML750は天吊り設置に対応していません。

■ スピーカ
オフを選択すると、スピーカー電源のオン/オフが切り替わります。

■ Audio Noise Reduction
オーディオのノイズの調整ができます。

■ **Display Hour**
投影時間を表示します。

マルチメディアの概要

サポートされているマルチメディア形式：

写真形式

画像タイプ（拡張子名）	サブタイプ	エンコードタイプ	最大サイズ
Jpeg / Jpg	ベースライン	YUV420	4000 x 4000 = 16,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	4000 x 4000 = 16,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
BMP			4000 x 4000 = 16,000,000 ピクセル

ビデオ形式

ファイル形式	ビデオ形式	デコード最大解像度	最大ビットレート(bps)	オーディオ形式	プロフィール
MPG、MPEG	MPEG1	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3	
AVI、MOV、MP4、MKV	H.264	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1 AC3	BP/MP/HP
AVI、MOV、MP4、	MPEG4	1920x1080 30fps	30M bps	HE-ACC v1	SP/ASP
AVI、MOV、MP4、	Xivd	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	HD
AVI	MJPEG	8192x8192 30fps	30Mbps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	ベースライン
WMV	VC-1	1920x1080 30fps	30M bps	WMA8/9(V1/v2)	SP/MP/AP

オーディオ形式

音楽タイプ(拡張子名)	サンプルレート(KHz)	ビットレート(Kbps)
MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320
ADPCM-WAV	8-48	32-384
PCM-WAV	8-48	128-1536
AAC	8-48	8-256

オフィスビューア形式

ファイル形式	サポートバージョン	ページ/行の制限	サイズの制限
Adobe PDF	PDF 1.0、1.1、1.2、1.3、1.4	最大1,000ページ（1つのファイル）	最大75MByte
MS Word	British Word 95、	オフィスビューアは、MS Wordファイルのすべてのページを同時に読み込むわけではないため、ページと行に明白な制限はありません。	最大100MByte
	Word 97、2000、2002、2003		
	Word 2007 (.docx)、		
	Word2010(.docx)、		
MS Excel	British Excel 5.95	行の制限：最大595	最大15MByte
	Excel 97、2000、2002、2003	列の制限：最大256	
	Excel 2007(.docx)、 Excel 2010(.docx)	シート：最大100	
	Office XP Excel	メモ：上記の3つの制限のいずれかが同時に一つのExcelファイルに存在することはできません	
MS PowerPoint	British PowerPoint 97	最大1,000ページ（1つのファイル）	最大19MByte
	PowerPoint 2000、2002、2003		
	PowerPoint 2007 (.pptx)		
	PowerPoint 2010 (.pptx)		
	Office XP PowerPoint		
	PowerPointプレゼンテーション2003およびそれ以前のバージョン（.ppx）		
	PowerPointプレゼンテーション2007および2010（.ppsx）		

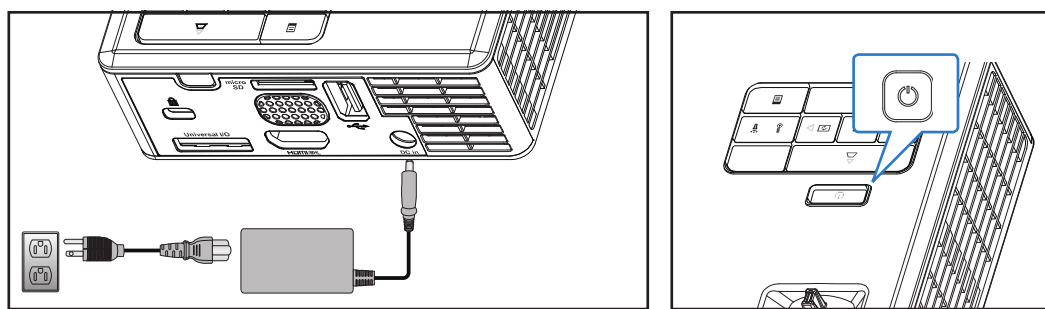
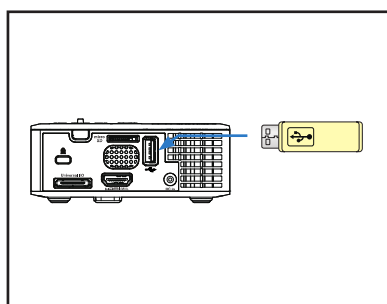
※バージョンや作業環境などによっては再生できない事があります。
正しく再生できない場合は、他の形式(Jpeg/JpgやPDF)へ転換してから再生してください。

USBを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

注意事項 :

1. *マルチメディアUSB機能を使用する場合、プロジェクタにUSBフラッシュディスクをつなぐ必要があります。*
2. *互換性の問題があることから、USBポートをカメラに接続しないでください。*

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、音楽、またはオフィスビューアのファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。

2. USB**フラッシュディスク**をプロジェクターに差し込みます。

※接続についてはP12を参照してください。

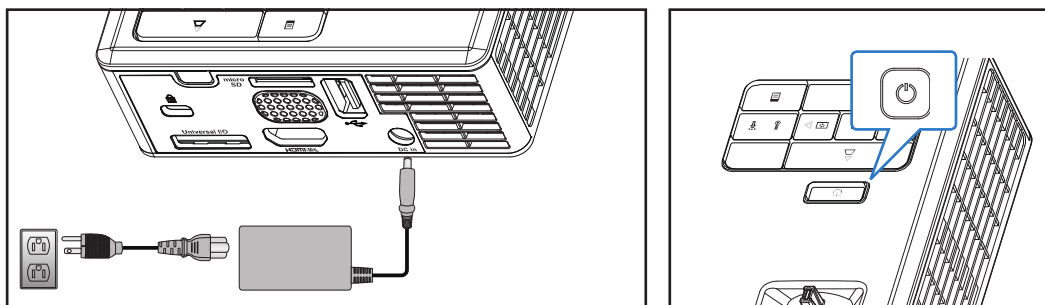
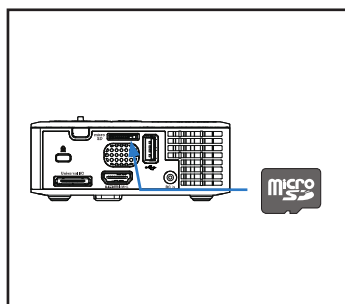
3. **ソース**メニューにアクセスし、USBオプションを選択して⏎ボタンを押します。このステップでUSBオプションが選択されている場合、画像入力ソースはマルチメディアメニューに自動的に切り替わります。

4. マルチメディアファイルを選択し、**写真**、**ビデオ**、**音楽**、または、**オフィスビューア**から選択し、⏎を押して、再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、**写真**、**ビデオ**、**音楽**、または**オフィスビューア**に対する設定を変更します。

マイクロSDを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

メモ：マルチメディアマイクロSD機能を使用する場合、プロジェクターにマイクロSDカードを入れる必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、音楽、またはオフィスビューアのファイルを再生します。

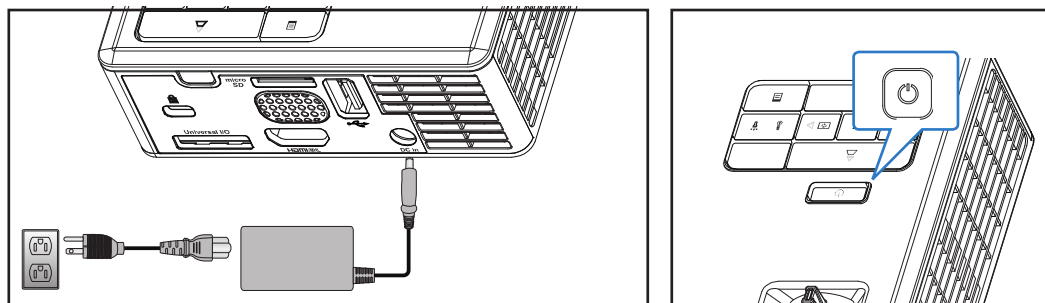
1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。

2. **マイクロSDカード**をプロジェクターに差し込みます。マイクロSDカードを入れると、画像入力ソースはマイクロSD画面に自動的に切り替わります。

※接続についてはP12を参照してください。

3. **ソース**メニューにアクセスし、**マイクロ**SDオプションを選択して⏎ボタンを押します。このステップで**マイクロ**SDオプションが選択されている場合、画像入力ソースはマルチメディアメニューに自動的に切り替わります。

4. マルチメディアファイルを選択し、**写真**、**ビデオ**、**音楽**、または、**オフィスビューア**から選択し、⏎を押して、再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、**写真**、**ビデオ**、**音楽**、または**オフィスビューア**に対する設定を変更します。

内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、音楽、またはオフィスビューアのファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。

2. **ソース**メニューにアクセスし、**内部メモリ**オプションを選択して⏎ボタンを押します。このステップで**内部メモリ**オプションが選択されている場合、画像入力ソースはマルチメディアメニューに自動的に切り替わります。

3. マルチメディアファイルを選択し、**写真**、**ビデオ**、**音楽**、または、**オフィスビューア**から選択し、⏎を押して、再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、**写真**、**ビデオ**、**音楽**、または**オフィスビューア**に対する設定を変更します。

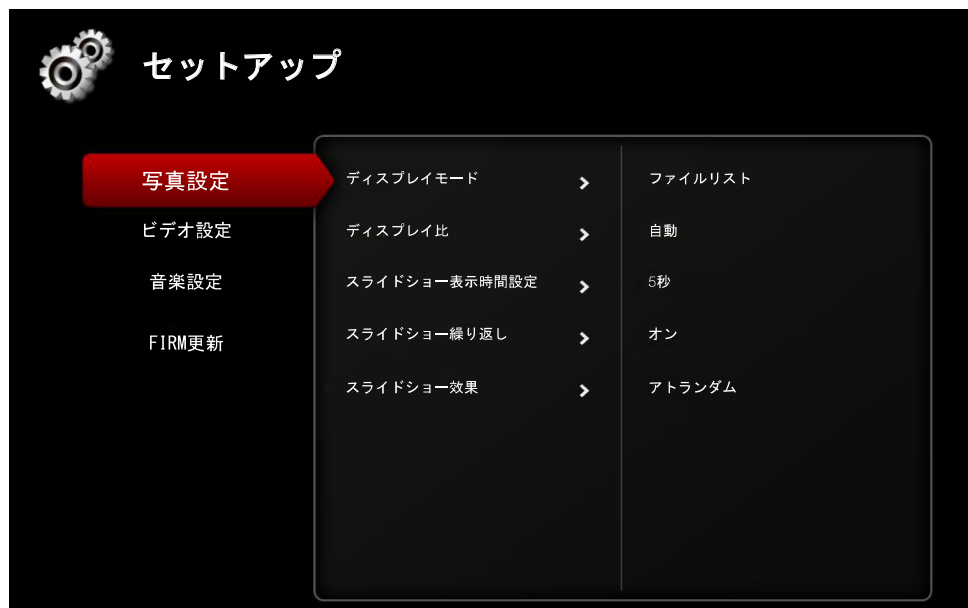
マルチメディアメインメニュー

USB、MicroSD、および内部メモリに対するマルチメディアセットアップ

マルチメディアセットアップメニューでは、写真、ビデオ、音楽、および オフィスビューアの設定を変更できます。

メモ：USB、MicroSD、および内部メモリに対するマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。

写真設定

⮐を選択して押し、写真セットアップメニューを起動します。写真セットアップメニューには次のオプションがあります。

■ **ディスプレイモード**

▲または▼を押して、画面の写真の表示モードを選択します。オプション：**ファイルリスト**、**サムネイル**、および**スライドショー**。

■ **ディスプレイ比**

▲または▼を押して写真の表示比を**自動**(元の比率)または**フル**(フル画面)で選択します。

■ **スライドショー表示時間設定**

▲または▼を押してスライドショーの間隔を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：**5秒**、**15秒**、**30秒**、**1分**、**5分**、および**15分**。

■ **スライドショー繰り返し**

オンを選択してスライドショーをリピートします。または、**オフ**を選択して、最後のページに達したときにスライドショーを停止します。

■ **スライドショー効果**

▲または▼を必要なスライドショーのエフェクトを選択します。オプション：**アトランダム**、**長方形**、**オフ**、**ヘビ**、**パーティション**、**消去**、**ブラインド**、**ライン**、**グリッドの十字表示**、**十字**、および**らせん**。

メモ：スライドショー表示時間設定、スライドショー繰り返し、およびスライドショー効果機能のみがスライドショーモードに対応しています。

ビデオ設定

⏎を選択して押し、ビデオセットアップメニューを起動します。ビデオセットアップメニューには次のオプションがあります。

■ **ディスプレイ比**

▲または▼を押してビデオの表示比を選択します。

- 自動：元の縦横比を保持します。
- フル：全画面。

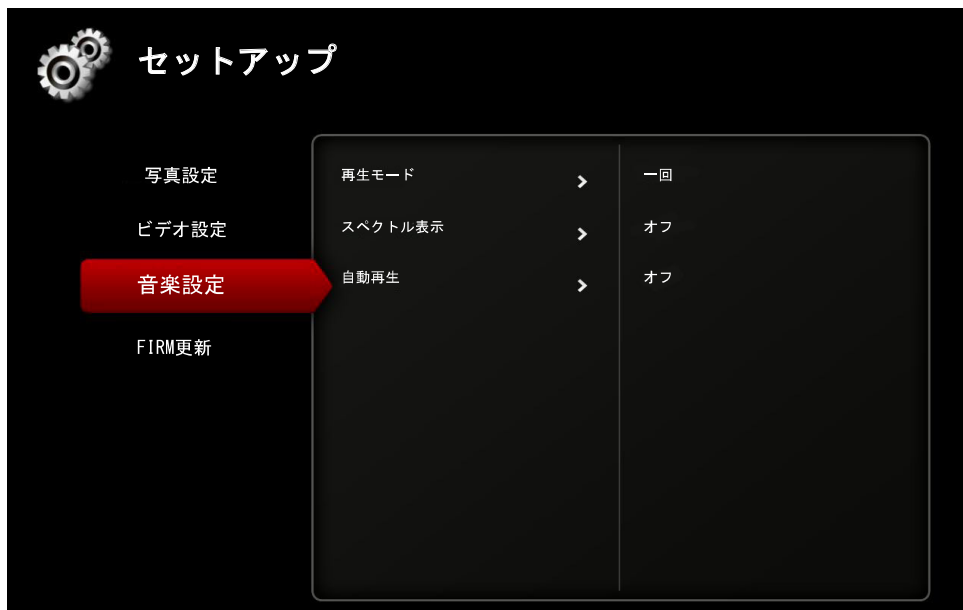
■ **再生モード**

▲または▼を押してビデオ再生モードを選択します。オプション：**一回**、**一回繰り返し**、**繰り返し**、および**アトランダム**。

■ **自動再生**

オンを選択して、ビデオリストに入るときに自動的にビデオを再生します。

音楽設定

⊖を選択して押し、音楽セットアップメニューを起動します。音楽セットアップメニューには次のオプションがあります。

- **再生モード**

  ▲または▼を押してビデオ再生モードを選択します。オプション：**一回**、**一回繰り返し**、**繰り返し**、および**アトランダム**。

- **スペクトル表示**

  オンを選択して、音楽の再生中にスペクトラムプロットを表示します。

- **自動再生**

  オンを選択して、音楽リストに入るときに自動的に音楽を再生します。

情報

プロジェクタの現在のファームウェアバージョンと日付を表示します。

付録

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解決しない場合は、販売店またはコンタクトセンター(P48)にご連絡ください。

問題	解決方法
画面に画像が表示されない。	● プロジェクターの電源がオンになっていることを確認します。 ● OSD**ソース**メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。 ● 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。 ● すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 ● コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	● コントロールパネル上の**自動調整**ボタンを押します。 ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度をWXGA（1280 x 800）に設定します。 ● 解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクタを再起動します。 ● 画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。
画面にプレゼンテーションが表示されない。	● ノートパソコンをお使いの場合は、を押して、出力設定を切り替えます。例：[Fn]+[F4]キー。
画像が不安定、または、ちらつく。	● **詳細**メニューのOSD**表示**設定でトラッキングを調整します（PCモードのみ）。
画像に縦線が入る。	● **詳細**メニューのOSD**表示**設定でト周波数を調整します（PCモードのみ）。
画像の焦点が合わない。	1. プロジェクターレンズのフォーカスリングを調整します。 2. 投影画面がプロジェクータから許容距離内にあることを確認します（0. 97 m ～ 2.58 m）。

問題	解決方法
16:9 DVDを表示すると画像が伸びる。	• プロジェクターは自動で入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。 • 画像がそれでも伸びる場合、OSDの**詳細**メニューの**表示**で縦横比を調整してください。
オレンジ色のLED警告インジケータ（LED）が点灯しています	• プロジェクターのLEDが故障したため、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合はコンタクトセンターまでお問い合わせください。
オレンジ色のTEMP警告インジケータ（LED）が点滅しています	• プロジェクターが過熱しています。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。プロジェクターが十分冷えてから電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合はコンタクトセンターまでお問い合わせください。 • プロジェクターのファンが故障すると、プロジェクターは自動的に停止します。電源ボタンを10秒間押し続けることで、プロジェクターモードを消去してください。5分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合はコンタクトセンターまでお問い合わせください。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	• 電池の残量が少なくなっています。新しいCR2025電池と交換します。

ガイド信号

プロジェクタステータス	説明	電源 （青/オレンジ色）	TEMP警告 （オレンジ色）	LED警告 （オレンジ色）
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクター。 電源を入れる準備ができました。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ
電源オン	通常モードのプロジェクター。 画像の表示準備ができました。	青色	オフ	オフ
プロジェクタが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が35℃を超えていることが考えられます。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。通気口が塞がれておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は、コンタクトセンターへお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅 （オフは1秒、オンは3秒という周期です）	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。 プロジェクターは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合はコンタクトセンターまでお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅 （オフは0.5秒、オンは2秒という周期です）	オフ
LED故障	LEDがシャットダウンしています。	オフ	オフ	オレンジ色

互換モード(アナログ/デジタル)

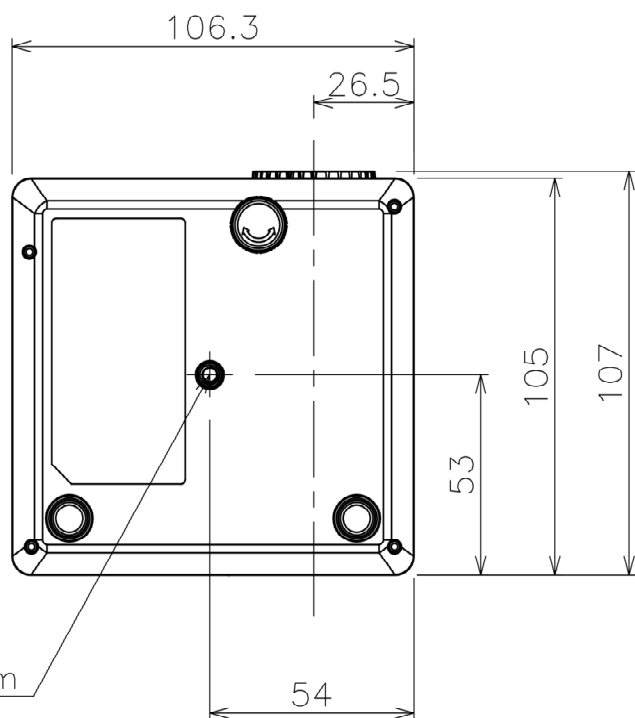
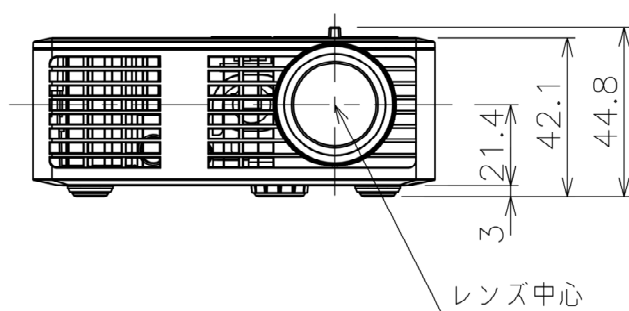
解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数（KHz）	ピクセル･クロック （MHz）
640 x 350	70.087	31.469	25.175
720 x 400	70.087	31.469	28.322
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480	75.000	37.500	31.500
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1280 x 768	59.87	47.776	79.500
1366 x 768	59.789	47.712	85.500
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1280 x 768-R60	59.995	47.396	68.250
1280 x 768	74.893	60.289	102.250
1280 x 768	84.837	68.633	117.500
1280 x 800-R	59.910	49.306	71.000
1280 x 800	74.934	62.795	106.500
1440 x 900	74.984	70.635	136.750

プロジェクターの三脚設置

プロジェクターのねじ穴に三脚をねじで取り付けます。

メモ：

1. *三脚は別途ご用意ください。*
2. *設置を誤って損傷した場合は保証の対象外になることにお気をつけください。*

装置一式: mm

保　　証　　書

1. 保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1) この保証書のご提示がない場合。
(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5) 火災や天災等による故障および損傷。
(6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し上げます。
■ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。
※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan
3. ランプの保証期間は、購入、交換より6ヶ月使用あるいは1000時間の使用どちらか早く到達した時点までとなります。
※ 故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担でお願いいたします。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

型　　式			
シリアル番号			
ご購入日	年　　月　　日	保証期間	1年間

販売店

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター：0120-380-495
http://www.os-worldwide.com
E-mail：info@os-worldwide.com

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスプラスe
コンタクトセンター：0120-212-750
http://www.os-worldwide.com/os_plus_e/
E-mail：e.info@os-worldwide.com

来歴	管理番号	変更内容	担当者	備考
0	ML7515X01	スタート	井元	
1	ML7515X28	P10表記修正	井元	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				